

みずほCustomer Desk Report 2017/03/07 号 (As of 2017/03/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	113.81 AUD/USD
TKY 9:00AM	113.82	1.0620	120.89	1.0080	1.2296	0.7594
SYD-NY High	114.13	1.0640	121.10	1.0129	1.2300	0.7609
SYD-NY Low	113.56	1.0575	120.36	1.0073	1.2224	0.7570
NY 5:00 PM	113.88	1.0581	120.51	1.0129	1.2235	0.7580
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.305/9.705		△25RR	0.210	Yen Call Over	
NY DOW	20,954.34	▲ 51.37	債券市場	日本2年債	-0.2910	▲0.7bp
NASDAQ	5,849.18	▲ 21.58		日本10年債	0.0740	▲0.4bp
S&P	2,375.31	▲ 7.81		米国2年債	1.3053	0.0bp
日経平均	19,379.14	▲ 90.03		米国5年債	2.0191	1.0bp
TOPIX	1,554.90	▲ 3.15		米国10年債	2.4997	2.2bp
シカゴ日経先物	19,375	▲95.00		独10年債	0.3420	▲1.4bp
ロンドンFT	7,350.12	▲24.14	為替市況	英10年債	1.2130	2.8bp
DAX	11,958.40	▲68.96		豪10年債	2.8040	▲0.2bp
ハンセン指数	23,596.28	43.56		USD/CNH	6.9011	0.0044
上海総合	3,233.87	15.55	商品市況	ドルインデックス	101.66	0.12
USDJPY 3M Vol	10.27	▲0.63%		CRB指数	189.421	▲0.29
USDJPY 6M Vol	10.12	▲0.44%		NY金	1,225.50	▲1.00
EURJPY 3M Vol	12.21	▲0.68%		WTI	53.20	▲0.13
EURJPY 6M Vol	11.49	▲0.43%		Dubai Spot	53.77	0.02

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月6日	9:30	豪 小売売上高(前月比)	1月 0.4%	0.4%
3月7日	0:00	米 製造業受注指数	1月 1.2%	1.0%
	0:00	米 耐久財耐久財受注・確報値(前月比)	1月 2.0%	1.0%
	0:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報値(前月比)	1月 0.0%	0.1%
	5:00	米 カシカリ・ミネアポリス連銀総裁講演	-	-

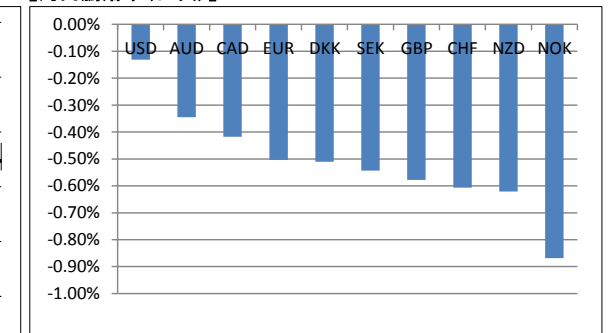
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月7日	12:30	豪 RBAキャッシュレート	-	1.5%
	16:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	1月 -2.5%/4.3%	5.2%/8.1%
	19:00	欧 GDP・確報(前期比/前年比)	4Q 0.4%/1.7%	0.4%/1.7%
	22:30	米 貿易収支	1月 -\$48.5B	-\$44.3B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.30-114.30	1.0530-1.0630	120.00-121.00

【マーケット・インプレッション】

昨日海外市場のドル円は、114円を挟んだの揉み合い、方向感に乏しい値動きに終始。先週末のイエレンFRB議長講演以降、利益確定やポジション調整が入り、やや軟化基調であったドル円は一時113.56付近まで水準を切り下げたものの、米1月耐久財受注などの堅調な米指標を受けて米金利がじりじりと上昇する流れに、114.10まで連れ高の展開。その後は目新しい材料に欠ける中で、一段と上値を追う展開とまではいかず、再び113円台後半へ押し戻され、全体的に狭い幅での値動きに留まった。

本日のドル円も、動意に乏しいレンジ相場が基本線とみる。10日の米2月雇用統計や14～15日のFOMCを控えて、明確な方向感を見出しにくい局面にある中、米3月利上げ観測がドル相場を下支えする構図は不変。一方で、トランプ大統領の新たな入国禁止令署名や北朝鮮ミサイル発射などを受けた地政学リスクや、欧州政治リスクへの警戒感などがドル円相場への重しとなり、上値を押さえる格好から、上下ともに値幅を期待することは難しそう。本日は米1月貿易収支などの指標が発表されるほかは、目立った材料は見当たらない。

東京	東京時間オープン前にこの日の高値114.13をつけ、東京時間のドル円は113.82レベルでオープン。朝方に「北朝鮮が弾道ミサイルを4発発射し、うち3発が本邦排他的経済水域内に落下した」との報道が伝わるもドル円相場への影響は限定的。日経平均が前日比マイナス圏で軟調推移する中、ドル円も一時113.72まで軟化。イエレンFRB議長の講演を通過してやや材料難の中、ドル円の値幅も限定的で終始動意に欠ける展開。結局113.82レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は方向感なく推移。朝方は113.82レベルでオープン。東京時間と同様に動意に乏しい展開が続く中、結局オープンとほぼ変わらずの水準である113.81レベルでNYへ渡った。ユーロ円は120.63レベルでオープン。仏大統領選挙を巡ってジュベ元首相が記者会見を行い、不出馬を表明。ルペン氏への追い風となることが意識されると、政局不安の高まりからユーロ売りが優勢となりユーロ円は120.86から120.36まで上下するも、結局は120.53レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は新規材料に欠く、113円台後半での推移が中心となり113.81レベルでNYオープン。朝方発表された米1月製造業受注指数や米1月耐久財受注(前月比)が予想を上回ると、ドル買い優勢の展開からドル円は113.90まで上昇。その後も前日比マイナス圏で寄り付いた米株が下げ幅を縮小したことや、米長期金利が上昇したこと等を受け、ドル円は114.10まで上伸。しかし、特段目新しい材料もない中、この水準ではこの日の高値である114.13が意識されたこと等もあり113.80付近まで反落し113.88レベルでクロスした。なお、政井日銀委員の「極めて緩和的な金融環境を維持する」との発言や、トランプ米大統領が移民入国制限の当初対象国だった7カ国からイランを除いた新たな大統領令に署名したとの報道が伝わるも、市場の影響は限定的となった。一方、ユーロ円は1.0589レベルでNYオープン。米長期金利の上昇を背景にドル買いが強まったことから、ユーロ円は上値の重い展開となり一時1.0575まで下落。その後も1.05台後半での推移が続き、1.0581レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:西島・鶴田